平成 29 年 11 月 9 日

各　位

会 社 名　　ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　髙柳　浩二
（コード：8028　東証・名証第一部）

当社子会社(カネ美食品株式会社)の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるカネ美食品株式会社が通期（平成 29 年４月１日～平成 30 年３月 31 日）の業績予想の修正を公表しましたので、お知らせいたします。

なお、本件による当社連結業績への影響については、軽微です。

以 上

平成29年11月９日

各　位

会 社 名　　カネ美食品株式会社
代表者名　　代表取締役社長　三輪　幸太郎
（ＪＡＳＤＡＱ・コード２６６９）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年５月９日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

【業績予想の修正について】

平成30年３月期通期業績予想数値の修正（平成29年４月１日～平成30年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 94,227	百万円 569	百万円 630	百万円 230	円銭 23.37
今回修正予想（B）	91,410	△1,080	△1,000	△280	△28.45
増減額（B－A）	△2,817	△1,649	△1,630	△510	
増減率（%）	△2.9	―	―	―	
（ご参考）前期実績（平成29年３月期）	88,258	498	582	△514	△52.08

【修正の理由】

通期の業績予想については、平成29年１月から実施されたファミリーマートとサークルＫサンクスブランドの商品統合に伴い、製造効率の低下等の早急な改善を第一の課題として取り組んでまいりましたが、売上高については、特に中部・関西地区のファミリーマート向けの売上高が当初の計画より下回っていることなどが主な要因となり、前回公表の全社ベースでの売上高を下回る見込みとなりました。

利益面においては、売上高が前期に比べて増収見込みになるものの、人件費及び経費が大幅に増加する見込みです。

特に人件費においては、商品統合時に一部の工場において、２便生産から３便生産への変更があり、２便体制の人員配置で３便体制に対応するには無理が生じたため、作業時間と人材派遣が大幅に増加いたしました。

また、商品統合後の混乱を早急に収束するために人員増を図ってまいりましたが、主に人材派遣に頼っていたため、同じ人員であっても作業習熟度の兼ね合いで実際の作業時間が前年及び当初計画よりも大幅に増えております。

これらがコスト増の主な要因となり、前回公表の営業利益及び経常利益を大幅に下回る見込みとなりました。

当期純利益については、平成29年10月19日に公表した「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり８億87百万円の売却益を計上するという上乗せ要因はあるものの、経常損失を補うまでには至らず、前回公表した数値を下回る見込みとなりました。

下期においては、当初計画との乖離が生じている売上高の確保を最優先課題として、業績の回復に注力してまいります。

（注）上記の業績予想の修正については、現時点において合理的であると判断する情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上